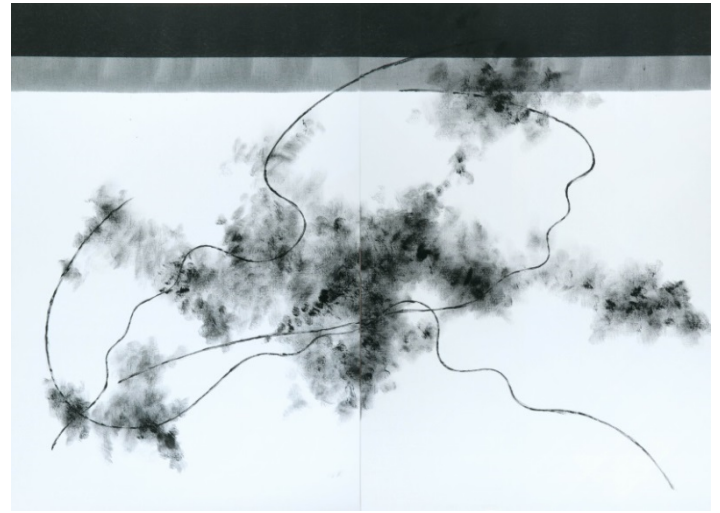




「もうひとつの自然」キャンバスに墨と絵具 228.0x486cm 2009

(会場風景：ギャラリー・ロレンツェッリアルテ、ミラノ／撮影：宮本敏明)



「老松（黒松）」キャンバスに墨と絵具 162.0x224cm 2014

(会場風景：金沢能楽美術館／撮影：小寺康雄)

山本 浩二 「もうひとつの自然」 × 「生きている老松」

Koji Yamamoto Another Nature × A Living Old Pine

2015年1月17日[土] - 3月1日[日] 12:00-19:00 水・木休廊

2015年1月17日[土]より、Galerie Ashiya Schuleにて、山本浩二の個展「もうひとつの自然 Another Nature」 × 「生きている老松 A Living Old Pine」を開催致します。

山本浩二は、1973年から3年間マドリードのシルクロ美術研究所ならびにプラド美術館で学んで以降、フランス、イタリア、韓国、ポーランド、スイス、イギリス、アメリカ等の国際展で活動を続けてきました。1987年のポーランド国際シンポジウム招待制作・個展を経て、近年はミラノを中心に東京、大阪などで精力的な発表を続けています。

2009年、ロレンツェッリ アルテ・ミラノにおいて「もうひとつの自然 Another Nature」を発表。鮮烈な色彩は、圧倒的な迫力で観るものの思考を揺さぶりました。2013年には、ミラノの老舗美術出版社・ボッカ書店の天井壁画を制作。ガラスと鉄製のアーチが続く歴史的建造物ギャラリーに、「Another Nature」が彩りも鮮やかに息づいています。

2011年、思想家で武道家の内田 樹氏が主催する合気道場「凱風館／能舞台」に「老松」を制作。2014年には金沢能楽美術館で「生きている老松／山本浩二」展が開催され、能面や能装束の名品とともに紹介されました。山本老松は、能舞台の「気韻生動」の空気を漂わせながらも、新たな生命力がほとばしる表情を見せています。

殻を破る新芽のねじれと、萎えていく葉の形に見いだされた生命の時間性を、豊かな色彩と伝統的なモチーフに表現した二つのシリーズ。「もうひとつの自然 Another Nature」と「生きている老松 A Living Old Pine」シリーズは、新たな時空を啓く表現として、洋の東西を超えた普遍の「生命」の美を対峙させる作品となって展開されています。

今回の展覧会開催に合わせ、山本浩二と塚脇 淳氏（彫刻家・神戸大学大学院教授）による対談を開催致します。

皆様のご高覧をお待ち申し上げます。

対談 山本浩二×塚脇 淳 (彫刻家・神戸大学大学院教授)

“Another Nature×Against Nature”

2月14日(土) 14:00-16:00

参加費: 500yen



山本浩二



塚脇 淳

□作家略歴

- 1951年 大阪に生まれる
- 1973年から3年間、マドリードのシルクロ美術研究所とプラド美術館に学び帰国
- 1982年 招かれて渡英。ロンドンに滞在して制作
イギリス文化庁主催の12人展がイギリス全土を巡回
以後、フランス、イタリア、韓国、ポーランド、スイス、イギリス、アメリカ等の国際展に招待出品
- 1987年 ポーランド国際シンポジウムに招待されワルシャワで制作、個展
- 1995年 ドイツ文化庁の推薦を受けて大阪のライカ OXY ギャラリーで個展
- 1997年 ミラノのギャラリー・スパツィオ・エで個展
以後ミラノを中心に、東京、大阪でも発表を続ける
- 2000年 ミラノのギャラリー・イン・ブレラで個展
- 2004年 ミラノのボッカ出版より詩画集が出版され、ガレリアで記念展
- 2005年 神戸「SYSMEX KOBE ART WORK」で1年間特別展示
- 2009年 ロレンツェリアルテ・ミラノで大規模な個展が開催された
- 2010年 Mi-ART ミラノ国際アートフェアに出展
- 2011年 思想家で武道家の内田樹氏の合気道場「凱風館／能舞台」に「老松」を制作
韓国光州の国際ドローイング展に招待出品
- 2012年 大阪番画廊で個展
KIAF ソウル国際アートフェアに出展
- 2013年 ミラノガレリアのボッカ書店に天井壁画を制作、常設
アートフェア東京でシリーズ「Another Nature」個展
シドニー国際アートフェア出展
東京永井画廊で「老松」個展
- 2014年 金沢能楽美術館で「山本浩二展／生きている老松」開催
Affordable Singapore シンガポール国際アートフェア出展
東京M商事玄関ロビーにヴェネツィア モザイクで壁画を制作、常設